

甘日日刊
東京時報

福島縣石城郡平町船屋町
福島縣石城郡平町船屋町
印 刷 所 加納系版所
印 刷 所 加納系版所
福島縣石城郡平町船屋町
發 行 所 船屋町
一部金券一月金券
廣告料二行四字語金五十錢

小林所長
今 日 出 福
來 年 度 の
事 業 方 合

川端康成の犠牲
三死體遂に發見
入山炭礦が應援して
坑内の惡ガス排除

五十七錢、安一圓九錢、駢一圓四十三錢、掛目十四斯くの如き値段では全く種紙代に過ぎなく養蠶家は一錢宛でも高價に賣る必要あり一貫一圓五十錢以上の縣の補償があれば乾

大浦高等科一年生
毎單行イフで上級生

の橋梁頓田町先國道の鮫川橋
其他代表的な橋梁五六ヶ所の實
現及び凌渫船の到着せざるため

昨日仁井田海岸の椿事

幾分延長し更に明年度においては必ず幹線の長橋、糸屋町並に

仁井田川大改修

縣刑事協會長から金一封を

賣地取消を決議

所不定無職強盜前科一犯竹事協會に申請中であつたが夫(三二)を協力逮捕した同十八日各金一封宛を添えて守番者守吉爾(六四)と電通された。

空の表忠碑竣工

仁井田川の改修工事は大體九分長は又夏井川改修事務所通り竣工今一息の域に近つい兼ねてをり事毎に態度があたが、潰し地買收の点においてらぬため同地方において高橋事務所長の態度が餘りにも買收の事に就いて平窪・

地元江名の美譽

商人的であるため全く誠意を認から猛烈な反対に遭ひ進工上非常難いと地主間に漸次非難の聲常な支障を來してゐる状態であ

依然
轉價安
倉勿來市場況

各宗教團体聯合の川施餓鬼無縫
佛の供養行事と夏井の清流に
点滅する紅、青、白、紫、色彩
美はしい燈籠流しの行事に明夜

去る五月二十四日石城郡江名町字長崎地先海岸へ墜落慘死した横須賀海軍航空隊所屬の増田、上田、兩少佐のため同町では既報の如く表忠碑を建立来る九月二十四日盛大な除幕式を舉行する筈であつたが都合によつて同月三十日に延期された。同町の空

須賀航空隊司、二十九聯隊長等狼し目下これが緩和策に大童と般は勿論各官衙からも面白か
臨席することになった。なほ當なつて居り完成を前た控へ成行ぬ感情を以て迎へられてをり
日横須賀航空隊の陸上機二機がきを注目されてゐるが、高橋所面楚歌の状態となつてゐる。

秋 蘭 出廻り 最盛期

玉川校同窓會開十會を呈した。小學校では二十五日午後一時から同窓會を開催野崎村長を始めに推戴會員の意見發表、余興等あり出席男女三百餘名空前の盛

科 齒

神谷齒科醫院
神谷辰夫

平町古銀治町九一

馬相
家傳靈藥
ハシサキ消食散

三百年の歴史を有する
一名かけの藥

代理店 丸龜商店
電話一三三番



金屋商店

諸橋久太郎

電話九九九番

和洋銅鐵金物問屋

小野屋藥局

平明四丁目 (電話一四四番)

和尊泉製造發賣元
弱、動脈硬化症、感冒、病後ノ衰弱等に療効あり
又傳染性諸病の豫防に用ひ、赤ん坊のうぶ湯に用てよし
定價 金貳拾錢より貳圓迄

特浴家庭和尊泉

(①主治效能

神經痛、リウマチス、關節炎、肩凝り、胃腸病、神經衰弱、激務ノ疲勞、手足筋ノ疼痛、腰痛、打撲傷、人病、血道、コシケ、冷へ性、寢小便、胎毒、皮膚病、創傷、痔疾、淋病、疝氣、寸白、凍傷、田虫、水虫、虚症、筋肉痙攣等に療効あり

生來

婦人科院長木村寅次郎

入院隨意

病室完備

平町新川町十九

電話一六四番

木村病院

内木宗八

玄蕃彌一

醫學博士

藥劑師

院

花柳病科

性病科

泌尿器病科

肛門病科

皮膚科

小兒科

內科

難波醫院

睦波難

士博學醫

平町田町 (電話五一三番)

高久病院

忠清雄

佐竹菊

花柳病科

外

科

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院